

謹賀新年



「文化の薫り高い」まちづくりを
市民皆さまと共に
三好市長 俵徹太郎

新年あけましておめでとうございませう。
2012年のすがすがしい新春を、ご家族お揃いでお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。

平成18年3月1日に発足した三好市は、昨年5月15日に5周年記念式典を開催し6回目の新春を迎えました。日頃は、市政各般にわたりまして、市民皆さまには、格別のご支援とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、東日本大震災とその悲惨な惨状は痛恨の極みで、平成23年3月11日は、全ての人の記憶の深奥に刻まれていくに違いありません。

三好市も発災後、様々な形で被災地支援を行ってまいりました。市民皆さまからご提供頂いた義援金や物資をお届けし、職員22名を宮城県女川町などに派遣してまいりました。

三好市では、たび重なる台風の接近・通過により道路の陥没、

地すべりなど、市内に大きな被害が発生いたしました。台風12号では三好市で初めて避難指示を出すなど迅速な災害対応に努めました。

一方、市立三野病院入院棟改築工事の落成、助産師による訪問・相談事業の開始、祝日・休日の「燃やすごみ」収集の実施、辺り地区等タクシー利用者助成事業の対象拡大、集落巡回バスの実証運行実施、東祖谷統合小・中学校、辻小中学校の改築工事着工、地域おこし協力隊員および集落支援員が活動開始、集落支援包括事業の開始など、市民皆さまの安心・安全を確保するための様々な施策を展開してまいりました。

市内各地で、からくり襖絵公演や平家落人伝説の創作劇、妖怪まつり、人形浄瑠璃公演、合併5周年記念四国第九コンサートなど様々な文化芸術活動が展開されました。そして、「三好長慶武者行列まつり」が始まり

「三好市学術・文化学会」も発足しました。一方、歴史まちづくり計画に基づき平家落人伝説関係の建造物の修理復元と景観整備など、本年度の最重要課題として、文化・観光振興と交流の推進に取り組んでまいりました。文化は、人々がよりよい生き方に近づこうとした生活から生まれ、活発な文化活動は市民生活を豊かにし活性化します。伝統文化継承のシンボルとしてたばこ資料館にある「かんな」等による「きざみ煙草」の実験を始めるなど、三好市の魅力の源である文化の力で交流人口を生み出し三好市経済の活性化に繋げてまいります。

「TTP」や「社会保障と税の一体改革」をはじめ国政の状況は、混沌としておりますが、本年も引き続き、限られた財源を市民皆さまのためにより効率的、効果的な予算編成を行い、市民生活の向上に向け出来る限りの対策を講じてまいります。

交通、中心市街地活性化など克服すべき課題が山積しております。一方、地域おこし協力隊や集落支援員による活動、あるいは集落支援包括事業、また三野病院の改築や各種福祉施策の拡充、東祖谷統合小・中学校の建築、教育施設の耐震化、にし阿波観光圏プラットフォーム事業、まちづくり条例の策定、等いろいろな形で課題解決のための施策や次の世代に向けた施策を講じています。

経済的には緩やかな回復局面が続く公算が大きいといわれていますが、長引く不況により、地域における産業の不振や雇用環境が改善されていると実感するまでには時間がかかる状況です。そして、こうした情勢の中でも地域社会は日々変化していることから、議会もこれらに的確に対処していかなければなりません。

そのためには皆様の声を的確に行政に反映させることが私たちに

まず、まちづくり条例案を3月定例会に提出いたします。次に、交流拠点施設整備は、基本設計の作成に向け取り組みを始めます。三好市景観条例も4月から施行されます。一方、「地域の活力と魅力を生み出す『起爆剤』」となる「第27回国民文化祭・とくしま2012」が開催されますので、最大限の取り組みを行います。

また、地域福祉充実のため第5期介護保険計画を始め障害者福祉計画などの策定に取り組みます。地域医療充実と無医地区の解消に向け、大歩危に診療所を開設します。そして、県立三好病院の入院棟改築が着工されます。更により一層林業振興を図るため森林整備計画を策定いたします。

本年は、市民皆さまの福祉の向上と「市民参画」協働をキーワードに「文化の薫り高い三好市」を市民皆さまと共に実践する年と位置付け、魅力あるまちづくりに積極的に取り組んでまいりますので、今後ともご支援ご協力よろしくお願い申し上げます。

新春の門出にあたりまして、市民皆さまのご多幸とご健康を祈念申し上げます。年頭のご挨拶といたします。

三好市民の皆様、新年明けましておめでとうございます。
三好市議会を代表いたしまして、謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

市民の皆様におかれましては、輝かしい新年を迎え、ご家族お揃いで、健やかにお過ごしのことと、心からお慶び申し上げます。

また、平素より市議会活動に対しあたたかいご理解とご協力を賜り、心より厚くお礼を申し上げます。

さて、昨年を振り返ってみますと、内外ともに自然災害が多発した年でありました。

3月に発生した東日本大震災は、日本国内観測史上最大の巨大地震と、大津波により戦後最悪の自然災害となり、追い討ちをかけるように発生した原発事故は日本だけでなく、世界の原子力行政に影響を与えるほどの災害となりました。そしてこの震災で私たちの防

災意識が非常に高まったと同時に、何が本当に大切かということを考えさせられました。
また、三好市においても、9月に襲来した台風12号、15号により甚大な被害が発生しました。なくなられた方々のご冥福をお祈りいたしますとともに、被災地の一日も早い復旧・復興、また今なお不自由な生活を強いられている多くの方々の一刻も早い事態の改善を心よりお祈りいたしております。

さてアメリカ金融危機を発端とした世界不況、円高、中国経済の台頭など、全国的に厳しい経済状況が今も続いており、明るい兆しがなかなか見えませんが、経済・産業の復興、再成長に果たす地域の役割は大きなものがあると思います。

特に近年の地方分権の進展により、市民に身近な市町村の役割は一層重要になっております。三好市においては少子高齢化、過疎化、福祉、防災、雇用、

経済的には緩やかな回復局面が続く公算が大きいといわれていますが、長引く不況により、地域における産業の不振や雇用環境が改善されていると実感するまでには時間がかかる状況です。そして、こうした情勢の中でも地域社会は日々変化していることから、議会もこれらに的確に対処していかなければなりません。

そのためには皆様の声を的確に行政に反映させることが私たちに
議員の責務であり、また、議会としても予算案などの議決のみならず、行政への監視、政策提案などの充実強化を図っていくことが重要と考えます。
現在、議員活動が市民の皆様に見えにくく、その役割や成果を十分お伝えできていないこともあって、厳しいご意見をいただくこともございますが、できる限り情報の公開を進めながら、市民の皆様との認識の共有を図り、議会の役割やあるべき姿についてご理解いただけるように努めてまいります。
そして三好市議会として、行政と互いに切磋琢磨しながら、まちづくりの主役は市民の皆様であることを第一に、三好市に住んでよかったと実感し、よその人たちには、三好市にぜひ住んでみたいと思っていただけのような市の実現に向かって、心を新たに、全力を尽くしてまいりますので、市民の皆様のお一層のご指導ご協力を賜りますようお願い申し上げます。
結びに、2012年が市民の皆様にとりまして実り多き年であり、皆様とともに、皆様のご健勝ご多幸をご祈念申し上げます。年頭のご挨拶といたします。



市民の皆様のために
議会としてできることを
三好市議会議員 木下善之